

継続研修講義プログラム公募要項

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会
教育研修委員会

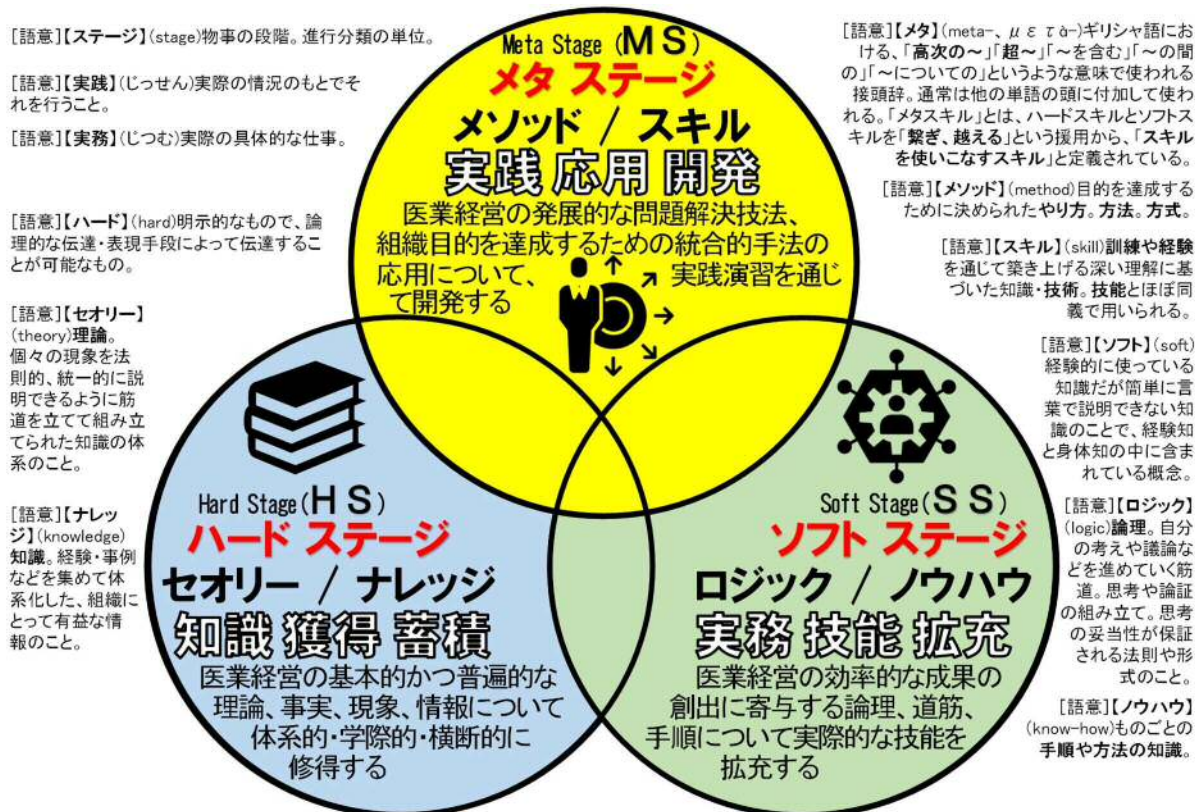
趣旨

継続研修講義プログラムの公募は、本部主催の継続研修に関連する能力開発や人材育成の質の向上を図り、ひいては医業経営の健全化・安定化に資することを目的としています。この趣旨にご賛同いただける会員からの応募をお待ちしています。ご応募いただいた継続研修講義プログラムの提案は、教育研修委員会による厳正な審査を行い、優秀なプログラムは、継続研修として講義の機会を持つことができます。

- 1. 募集方針：** ハード・ステージ、ソフト・ステージ、メタ・ステージ
②別掲の研修体系カテゴリー概念図を参照してください。
- 2. 募集講義：** 各ステージ区分の研修カリキュラムの講義名に合致する内容。
すでに他の機関等に発表されている内容でも応募可能です。
- 3. 募集件数：** 対象事業年度に提供するプログラムの量的な計画の枠内とします。
- 4. 応募資格：** ①講義プログラムについて、高度な知見を有し、専門的な能力が高く、技能に優れており、当該分野の仕事に従事し評価を得ている人。
②講義プログラムにふさわしい業績と、当該活動に関して、プロフェッショナルとして認められる実績をもち、実践的かつ指導的な実務経験を有し、認定登録 医業経営コンサルタントに教育指導できること。
③当該分野の普及を積極的に推進する意欲をもち、認定登録 医業経営コンサルタントの教育に熱意をもって取り組むことができること。
- 5. 講義収録：** 令和3年度(2021.4.1～2022.3.31)中において日程を調整する。
- 6. 提出書類：** 所定の「継続研修講義プログラム公募提案申請書式」による。
- 7. 応募期限：** **令和3年1月31日(必着)**
- 8. 送付先：** 本協会 事務局 事業部事業第一課 教育研修担当
- 9. 問合せ先：** 本協会 事務局 事業部事業第一課 教育研修担当
TEL： 03-5275-6996
FAX： 03-5275-6992
E-mail： kensyu@jahmc.or.jp
- 10. 選考方法：** 教育研修委員会による書類審査
審査のポイント： 教育の効果、提案内容が教育に有用かどうか。
②第2次選考として模擬講義(書類審査通過者対象)もしくは講義使用配付資料の提出を要請する場合があります。
※第2次選考のための旅費は自己負担となります。
- 11. その他：** 講義内容は、受講者アンケートにより評価します。

本部主催継続研修の体系

研修体系カテゴリー概念図 [prototype]



ハード／ソフト／メタ 各ステージのちがい

見える能力 = ハード・スキル
理論的知識

Hard Stage (HS)
ハード ステージ
セオリー / ナレッジ
知識 獲得 蓄積
 医業経営の基本的かつ普遍的な理論、事実、現象、情報について体系的・学際的・横断的に修得する

見えにくい能力 = ソフト・スキル
手段的技能
思考力・判断力・表現力

Soft Stage (SS)
ソフト ステージ
ロジック / ノウハウ
実務 技能 拡充
 医業経営の効率的な成果の創出に寄与する論理、道筋、手順について実際的な技能を拡充する

見えない能力 = メタ・スキル
価値的体現
主体性・多様性・協働性

Meta Stage (MS)
メタ ステージ
メソッド / スキル
実践 応用 開発
 医業経営の発展的な問題解決技法、組織目的を達成するための統合的手法の応用について、実践演習を通じて開発する

研修カリキュラム

H：ハード・ステージ 知識 獲得 蓄積 (セオリー/ナレッジ) 医療経営の基本的かつ普遍的な理論、事実、現象、情報について体系的・学際的・横断的に修得する

領域名	講義名	領域名	講義名
1. 医療関係法規	① 法学概論	2. 医療政策論	① 公共政策と医療
	② 医療法		② 医療政策と財政
	③ 資格法		③ 公衆衛生と予防I
	④ 薬機法、麻薬取締法		④ 公衆衛生と予防II
	⑤ 建築・設備法		⑤ 公衆衛生と予防III
	⑥ 環境法		⑥ 社会保障政策総論
	⑦ 法人法		⑦ 給付型保障
	⑧ 行政手続き		⑧ 保険型保障I
	⑨ 個人情報保護・情報公開法、データ管理		⑨ 保険型保障II
	⑩ 民事・刑事法		⑩ 保険型保障III
	⑪ 労働法		⑪ 保険型保障IV
	⑫ 緊急事態対応		⑫ 保険型保障V
	⑬ 診療報酬制度		⑬ 保険型保障VI
	⑭ 税法		⑭ 公共政策と計画I
	⑮ 諸法		⑮ 公共政策と計画II

S：ソフト・ステージ 実務 技能 拡充 (ロジック/ノウハウ) 医療経営の効率的な成果の創出に寄与する論理、道筋、手順について実際のな技能を拡充する

領域名	講義名	領域名	講義名
1. 医療政策	① 医療計画と地域医療構想の実際と方向性	3. 医療管理	⑨ 救命・救急部門の運営管理と課題
	② 病床機能報告制度の現状と課題		⑩ 入院診療部門管理の現状課題と対応策
	③ 地域医療の課題と方向性		⑪ 手術部門の運営管理と課題
	④ 地域包括ケアシステムの課題と先進事例		⑫ 看護部門管理の現状課題と対応策
	⑤ 在宅医療の課題と先進事例		⑬ 介護部門管理の現状課題と対応策
	⑥ 医療・介護制度の解釈と具体化		⑭ 薬剤部門管理の現状課題と対応策
	⑦ 医療と介護の連携の課題と将来像		⑮ 画像診断部門の運営管理と課題
	⑧ 医療・ケアの連携と継続		⑯ 臨床検査部門の運営管理と課題
	⑨ 保健医療福祉連携の近未来像		⑰ 臨床工学部門の運営管理と課題
2. 医療経営	① 経営職業倫理の啓発方法と取組事例	4. 医療コミュニケーション	⑱ リハビリ部門の運営管理と課題
	② 組織マネジメントのスキル・メソッド・フレームワークの実際		⑲ 栄養部門の運営管理と課題
	③ チームビルディングの実際と先進的取組		⑳ 医療機器部門管理の現状課題と対応策
	④ 目標設定能力の創発ロジックとノウハウ		㉑ 医療事務部門管理の現状課題と対応策
	⑤ 組織化能力の創発ロジックとノウハウ		㉒ チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例
	⑥ コミュニケーション能力の創発ロジックとノウハウ		㉓ 院内物品管理システムの効率化と先進事例
	⑦ 評価測定能力の創発ロジックとノウハウ		㉔ 医療勤務環境改善マネジメントシステムの導入・定着の実際
	⑧ 問題解決能力の創発ロジックとノウハウ		㉕ 医師の働き方改革の課題と効果的な支援手法
	⑨ 学習する組織5つのディシプリン創発ロジックとノウハウ		㉖ 医師の業務効率化の成功事例
	⑩ 人的資源管理の創造と変革		㉗ 医療スタッフの協働・連携によるタスクシフティング事例
	⑪ 医療機関の人事管理の課題と先進的事例		㉘ 医療施設におけるアウトソーシングと雇用関係
	⑫ 医療機関の労務管理の課題と先進的事例		㉙ 医療情報システムの標準化と未来像
	⑬ マネジメント・サイエンスの問題点と価値創出		㉚ 医療システム開発/導入支援
	⑭ 組織の知識創造モデルと成功の本質		① 病院コミュニケーションの現状と先端事例
	⑮ 意思決定プロセスのマネジメント		② 医療コミュニケーションの現状と先端事例
	⑯ 組織における「合理的な判断」「正しい意思決定」		③ ケアコミュニケーションの現状と先端事例
	⑰ 経営戦略思考のフレームワークと応用の実際		④ ヘルスコミュニケーションのモデル事例
	⑱ ビジネスアイデアと創業計画書の策定		⑤ 患者-医療者間コミュニケーションのモデル事例
	⑲ 創業計画書、経営指針書の構成		⑥ アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning : ACP) の実際と課題
	⑳ 経営理念の策定と組織化		⑦ 患者を含めた多職種協働体制でのACPを可能とするコミュニケーションモデルの構築
	㉑ 選択と集中による事業整理の手法と事例		⑧ 医療チームにおけるノンテクニカルスキル
	㉒ ターゲット顧客の明確な選定方法と事例		⑨ 医療におけるシステム思考の役割と実際
	㉓ 経営環境・市場環境分析・予測のノウハウ		⑩ 医療・介護現場の事例で学ぶロジカル思考の実際
	㉔ 事業収支計画における収益予測の問題点と対応策		⑪ 医療の現場で起きている問題をデザイン思考を用いて解決
	㉕ 医事統計業務の標準化と実際		⑫ プロセス思考による現場観察の改革手法
	㉖ 医療データ分析による患者アウトカムの改善		⑬ 医療訴訟の現状と医事紛争を防ぐための対応策
	㉗ 財務会計と経営戦略の連動		⑭ 医療過誤・ミスの原因とリスクマネジメント
	㉘ 戦略的管理会計の枠組みと価値創造の経営		⑮ 医療事故情報収集等事業の現状と課題
	㉙ 未来志向の財務分析における先進的な実務		
	㉚ 経営状況を鮮明に可視化する経営分析手法		
① 経営・運営に活かす医療統計力を鍛える	5. 介護福祉施設経営	① 介護福祉施設の経営形態	
② 医療・介護組織原価計算		② 介護福祉施設経営の特殊性	
③ 医療・介護ファイナンス		③ 介護福祉施設の収益構造の仕組みと課題	
④ 開業計画の実際と先端的事例		④ 介護福祉サービスマネジメントの問題点、改善点	
⑤ 医療施設の計画と建設の実務		⑤ 病院管理から学ぶ介護福祉施設管理	
⑥ 施設管理の実務		⑥ 医療介護福祉施設複合体	
⑦ 建築設備管理の実務		⑦ 医療・介護の質と経営の質	
⑧ 持分なし医療法人への移行の課題と実務		⑧ 海外の医療・介護施設経営	
⑨ 事業承継の課題と具体的事例		⑨ グローバルスタンダードと医療・介護システム	
① 施設基準の根拠・構造・要件の解釈と届出の実際		⑩ 医療・介護制度改革と介護施設革新	
② 医療サービスの特性とマネジメントの本質		⑪ 次世代の介護関連ビジネス	
③ 医療の質向上と費用節減-両立の条件-		⑫ 2021年度介護報酬改定の徹底分析	
④ 医療安全管理の課題と先進的事例		⑬ 介護人材の確保・介護現場の革新	
⑤ 院内感染対策とアウトブレイク時の対応		⑭ 介護人材採用・定着の課題とツボ	
⑥ 感染制御チームの活動の実際と先端事例		⑮ 介護事業の目指すべきポートフォリオの最適化	
⑦ 診療部の運営管理と課題		⑯ 居宅介護支援事業の課題と生きる道	
⑧ 外来診療部門管理の現状課題と対応策		⑰ 介護医療院の理想像とモデル事例	

M：メタ・ステージ 実践 応用 開発 (メソッド/スキル) 医療経営の発展的な問題解決技法、組織目的を達成するための統合的手法の応用について、実践演習を通じて開発する

領域名	講義名	領域名	講義名
1. 制度対応領域		6. 計量分析領域	
2. 事業戦略領域	経営改善課題の抽出と改善施策の策定コース	7. 戦略財務会計領域	
3. 組織経営領域	問題解決ファシリテーション専修コース	8. 課題解決実践力領域	
4. 人的資源管理領域		9. 思考/創造系メソッド領域	
5. 応用情報領域		10. 変革系オペレーションズ領域	

継続研修講師に関する取扱いについて

1. 講師料の基準

講師料および収録謝金は下記基準に則りお支払いいたします。

【60分講義】 講師料：5万円／収録謝金：2万円

【90分講義】 講師料：6万円／収録謝金：3万円

【120分講義】 講師料：7万円／収録謝金：3万円

(価格はすべて税込み)

2. 履修認定の基準

「継続研修規程」に附随する「継続研修の履修時間等に関する取扱細則」に則り、本研修の講師を務めた会員には、【講義時間数×2】の履修時間を認定いたします。

3. 収録動画の権利等の要件・有効期限

<権利等>

以下の点につきあらかじめご了承ください。

- ① 貴殿は、貴殿が収録された研修教材の映像を複製、翻案、上映、公衆送信、公衆送信化、及び頒布をする権利は、当協会に許諾していただきます。
- ② 貴殿は、当協会が認めた当協会の会員(当協会が定める視聴手続を完了し、規約に同意した者)に対して研修教材の映像・手元資料を複製することを許諾していただきます。
※ 受講者はオンデマンド配信にて収録教材を視聴しますが、原則として、mp4形式でダウンロード可能としています。
※ 手元用資料として講義資料をPDFファイルにデータ化し、ダウンロードおよび印刷を可能とします。但し、一般的には編集等ができないように加工し、無断転載を禁じる一文を掲載します。
- ③ 貴殿は、前項②の場合を除き、研修教材の映像の複製、翻案、上映、公衆送信、公衆送信可能化、及び頒布をする権利を当協会以外の第三者に許諾しないことを約束いただきます。
- ④ 貴殿は、当協会に対し著作権人格権を行使しないことを約束いただきます。

<有効期限>

初回有効期限を下記のとおりを設定し、毎年2月に次年度の継続使用可否についてお伺いいたします。原則、1年度単位の更新としております。

- ・4月～12月収録分…収録年度末(翌年3月末)まで
- ・1月～3月収録分…収録翌年度末(翌年3月末)まで

(お問合せ先) 事務局 事業部事業第一課

TEL: 03-5275-6996(代表)

Eメール: kensyu@jahmc.or.jp

※ご不明点等ございましたらご連絡ください。

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 継続研修講義プログラム 公募 提案 申請 書式

カテゴリー	<input type="checkbox"/> ハード・ステージ (旧 First)	知識獲得蓄積 (セオリー* / ナレッジ*) 医業経営の基本的かつ普遍的な理論、事実、現象、情報について体系的・学際的・横断的に修得する	
	<input type="checkbox"/> ソフト・ステージ (旧 second)	実務技能拡充 (ロジック* / ノウハウ*) 医業経営の効率的な成果の創出に寄与する論理、道筋、手順について実務的な技能を拡充する	
	<input type="checkbox"/> メタ・ステージ (旧 Third)	実践応用開発 (メソッド* / スキル*) 医業経営の発展的な問題解決技法、組織目的を達成するための統合的手法の応用について、実践演習を通じて開発する	
講義名	⑥継続研修カリキュラムの「講義名」を選択し必記のこと		
演題	主題		
	副題		
研修目的			
講義概要			
到達目標			
収録時間	<input type="checkbox"/> 60分	<input type="checkbox"/> 90分	<input type="checkbox"/> 120分
講師	氏名		
	所属/役職		
	略歴/資格		
	専門分野		
備考			

【語意】【セオリー】(theory)理論。個々の現象を法則的、統一的に説明できるように筋道を立てて組み立てられた知識の体系のこと。【ナレッジ】(knowledge)知識。経験・事例などを集めて体系化した、組織にとって有益な情報のこと。【ロジック】(logic)論理。自分の考えや議論などを進めていく筋道。思考や論証の組み立て。思考の妥当性が保証される法則や形式のこと。【ノウハウ】(know-how)ものごとの手順や方法の知識。【メソッド】(method)目的を達成するために決められたやり方。方法。方式。【スキル】(skill)訓練や経験を通じて築き上げる深い理解に基づいた知識・技術。技能とほぼ同義で用いられる。



各項目の文量は、所定のスペースを斟酌のうえ、簡潔に記入してください。
様式全体が1ページに収まれば、項目間のスペースの変更調整は差し支えありません。

事務局使用欄		整理番号：	コンテンツNo.：			
書面受理期日	委員会審議	講演依頼通知	講義収録期日	リリース期日	アンケート集計	アンケート評価

記入例

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 継続研修講義プログラム 公募提案申請書式

カテゴリ	<input type="checkbox"/> ハード・ステージ (旧 First)	知識獲得蓄積 (セオリー*/ナレッジ*) 医業経営の基本的かつ普遍的な理論、事実、現象、情報について体系的・学際的・横断的に修得する	
	<input type="checkbox"/> ソフト・ステージ (旧 second)	実務技能拡充 (ロジック*/ノウハウ*) 医業経営の効率的な成果の創出に寄与する論理、道筋、手順について実際の技能を拡充する	
	<input checked="" type="checkbox"/> メタ・ステージ (旧 Third)	実践応用開発 (メソッド*/スキル*) 医業経営の発展的な問題解決技法、組織目的を達成するための統合的手法の応用について、実践演習を通じて開発する	
講義名	問題解決ファシリテーション <small>(注)継続研修カリキュラムの「講義名」を選択し必記のこと</small>		
演題	主題	医療機関の組織が抱える悩みに立ち向かう 誰でも理解し実践できる問題解決のスキル修得	
	副題	階層や組織の垣根を越えて、現場の集合知を創出し、 根本的な解決へ導くシステム思考	
研修目的	<ul style="list-style-type: none"> ○医療組織の現場や経営層などにおいて、問題の認識・課題の抽出・解決に求められる知識の醸成と技能を開発し、将来に向けて組織を変革し業務を革新する現場力を向上させる枠組と手法を修得する。 ○問題認識の前提として、理念(価値志向)の共有化、将来像(ありたい姿)の明確化、事業戦略(シナリオ)の構造化、それらを体系的に組織化するためのシステム思考(デザインアプローチ)の方法論を習得する。 		
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種協同型組織で働く人が抱える問題の本質とは何か、問題の気づきと認識、解決手段の抽出と決定、意図的な実践行動をどのように連結するのか、一連の過程を構造化する統合的な知見を習熟する。 ○その過程で、思考や発想などを目的に沿って他人に伝え、理解と共感を得る基本的な技法を練磨する。また、全体最適と真の解決を導出する具体的な因果要素の連結について、演習で実践力を身につける。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の基本構造(要素間の相互作用、筋道の立った手順、基礎的知識の操作)を理解する。 ・組織の問題解決に必要な情報処理(システム思考、合意形成、相互理解など)を支援できる。 ・普遍的な前提(ビジョンや目標)に接近する思考を推進するための方法論・手法を援用できる。 ・参画者の協同による解決策の立案・実行計画(プロセスデザインやアクション)を調整できる。 ・組織(チーム)内でのコミュニケーションを活性化しながら、組織に宿る集合的な知性を創出し、根本的な問題解決のプロセスを促進させる知識・技能・手法を参画メンバーに移転できる。 		
収録時間	<input type="checkbox"/> 60分	<input type="checkbox"/> 90分	<input checked="" type="checkbox"/> 120分
講師	氏名		
	所属/役職		
	略歴/資格		
	専門分野		
備考			

【語意】【セオリー】(theory)理論。個々の現象を法則的、統一的に説明できるように筋道を立てて組み立てられた知識の体系のこと。【ナレッジ】(knowledge)知識。経験・事例などを集めて体系化した、組織にとって有益な情報のこと。【ロジック】(logic)論理。自分の考えや議論などを進めていく筋道。思考や論証の組み立て。思考の妥当性が保証される法則や形式のこと。【ノウハウ】(know-how)ものごとの手順や方法の知識。【メソッド】(method)目的を達成するために決められたやり方。方法。方式。【スキル】(skill)訓練や経験を通じて築き上げる深い理解に基づいた知識・技術。技能とほぼ同義で用いられる。

▲ 各項目の分量は、所定のスペースを斟酌のうえ、簡潔に記入してください。
様式全体が1ページに収まれば、項目間のスペースの変更調整は差し支えありません。

事務局使用欄	整理番号：	コンテンツNo.：				
書面受理期日	委員会審議	講演依頼通知	講義収録期日	リリース期日	アンケート集計	アンケート評価